

浄化槽を利用した日本の分散型水処理システムを学ぶため、国際協力機構（JICA）九州国際センターの招待で来日した南アジア、中南米、アフリカの研修生9人は先月13日、環境省や日本環境整備教育センター、全国浄化槽団体連合会を訪れ、研修を受けた。

全国浄化槽団体連合会では、佐々木裕信専務理事が研修生を出迎え、設立の経緯やこれまでの活

日本の水処理システム学ぶ 世界から研修生

全国浄化槽団体連合会など訪問



動成果を紹介。佐藤佑会長は、東日本大震災での浄化槽業界の対応を説明

した（写真）。
佐藤会長によると、東日本大震災の発生時、宮

城県石巻市では、停電し、下水道インフラも断絶。仮設トイレのし尿と災害廃棄物が発生し続ける事態となっていた。そのうち、浄化槽業界は関連業界と連携して取り組んできたことなど、研修生らは熱心に聞き入っていた。